

Q&A

54歳女性 上部消化管内視鏡検査で慢性胃炎のみ、繰り返す心窩部痛の患者の診断は？

【問題】

症例：54歳女性.

主訴：心窩部痛.

既往歴：高血圧.

家族歴：特記事項なし.

現病歴：心窩部痛のため消化器内科外来を受診した。腹部理学所見では心窩部に軽度の圧痛を認めた。腸雑音は正常、腹膜刺激症状もなかった。心電図上では、不整脈なども認めなかった。上部消化管内視鏡検査を施行したところ、慢性胃炎と診断された。採血で *H. pylori* 抗体が陽性であったため除菌治療を行い、除菌は成功した。除菌後約半年頃から、繰り返す心窩部痛と食後の胃のむかつきが出現したため、上部消化管内視鏡所見を再度行ったが (Figure 1)、慢性胃炎を指摘されたのみであった。その後も、心窩部痛の改善が得られ

ず、腹部エコーや腹部 CT 検査を行うも肝胆膵に異常は認めなかった。酸分泌抑制薬を用いて加療するも治療抵抗性であったため、採血検査を行い膵酵素を測定した。トリプシン 767ng/ml、リパーゼ 84U/L と高値を認め (Table 1)、膵臓精査のため超音波内視鏡検査を施行した。超音波内視鏡像を示す (Figure 2)。

1. 考えられる疾患は以下のうちどれか？

- a. 早期慢性膵炎
- b. 機能性ディスぺプシア
- c. 非びらん性胃食道逆流症
- d. 上腸間膜動脈閉塞症

解答は (2079p) に掲載

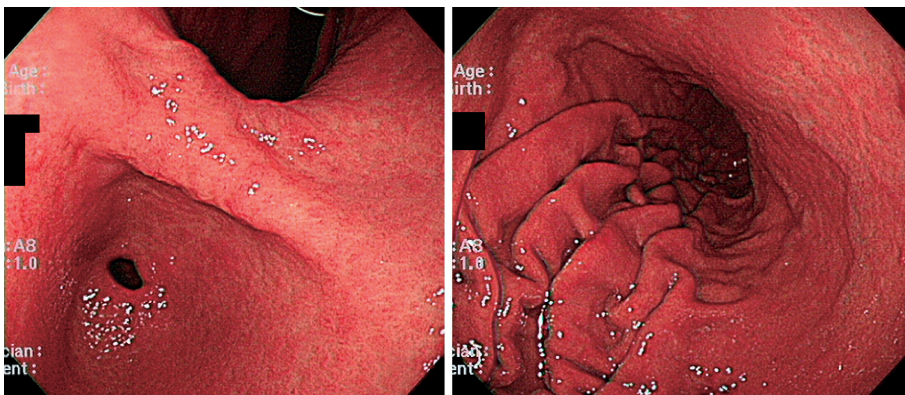


Figure 1. 上部消化管内視鏡検査 (通常観察).

Table 1. 検査データ

<血算>		<生化学>	
WBC 7000/ μ l	AST 24IU/L	ALT 28IU/L	LDH 151IU/L
RBC 458万/ μ l	ALP 185IU/L	γ GTP 43IU/L	CK 49IU/L LAP
Hb 14.2g/dl	54IU/L		
Hct 43.4%	AMY 122IU/L	T-bil 0.4mg/dL	
MCV 94.8fL	T-cho 207mg/dL	LDL-cho 127mg/dL	TG 109mg/dL
MCH 31.0pg	TP 7.1g/dL	Alb 4.0g/dL	BUN 17.1mg/dL
MCHC 32.7%	Cre 0.62mg/dL	UA 2.4mg/dL	eGFR 77ml/min/fm2
Plt 21.1万/ μ l	CRP 1.90mg/dl	Glu 94mg/dL	
Lipase 84 U/L	<TM関連>		
Elastase-1139ng/dL	AFP 2.0未満ng/ml	PIVKA-II 16.5mAU/mL	
Trypsin 767ng/ml			

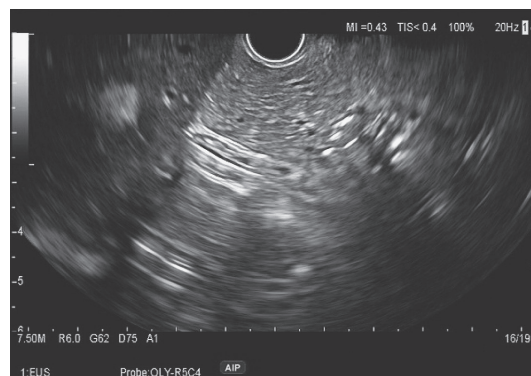


Figure 2. 超音波内視鏡検査（胃からのアプローチ）.